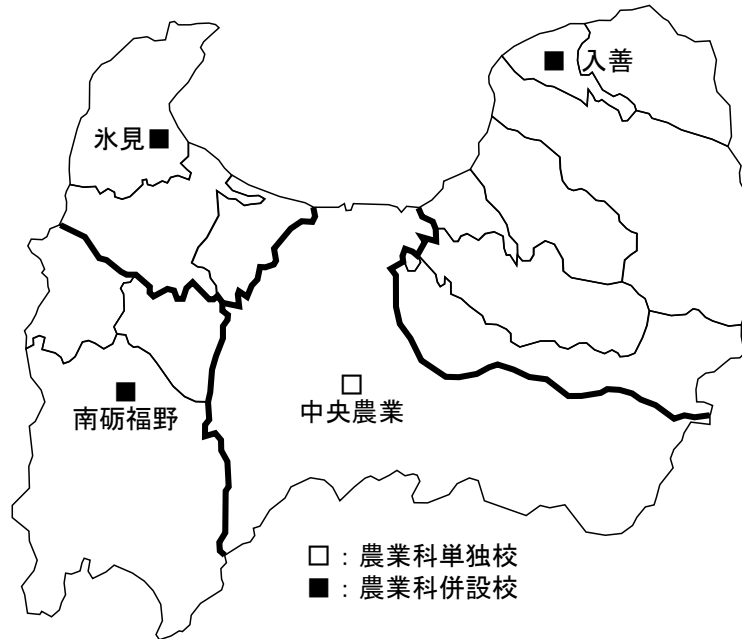


職業系専門学科の現状と課題について

参考資料

農業科

1. 配置状況



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
南砺福野■	氷見■	中央農業□	入善■
農業環境科 (30)	農業科学科 (20)	生物生産科 園芸デザイン科 バイオ技術科 (くくり募集で60名)	農業科 (30)

() 内は R8 年度の募集定員

2. 進路状況

(平成26年3月卒業生)

就職60.0%		進学40.0%(うち関連進学10.6%)	
関連就職 12.5%	47.5%	大学・短大等 15.6%	専修学校等 24.4%

(令和6年3月卒業生)

就職49.5%		進学49.5%(うち関連進学7.2%)		その他 1.0%
関連就職 12.6%	36.9%	大学・短大等 22.5%	専修学校等 27.0%	

3. 志願状況と欠員状況（過去 10 年間）

校名	学科名	H28		H29		H30		H31		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員
入善	農業	1.13		1.19		1.42		0.81		1.12		0.86	3	1.30		1.11		1.16		0.74	5
中農	農業科併設農業科	1.03		0.63	21	0.53	32	0.53	30	0.33	44	0.32	52	0.44	32	0.29	47	0.39	37	0.36	42
氷見	農業科学	1.67		1.11		1.33		1.22		1.07		1.22		0.88	1	1.75		0.78	4	0.78	4
福野	農業環境	1.56		1.50		0.81		0.88	1	1.94		2.25		0.81		1.63		1.44		1.19	

4. 募集定員に対する農業科の割合

	H22 年度	H27 年度	R2 年度	R7 年度
農業科単独校	1.2% (90)	1.2% (90)	1.4% (90)	1.2% (73)
普通科併設農業科	1.1% (80)	1.1% (80)	1.2% (80)	1.3% (80)
農業科計	2.3% (170)	2.4% (170)	2.6% (170)	2.5% (153)
募集定員	7,474	7,224	6,662	6,024

5. 今後の課題

(1) 志願者のさらなる減少

少子化の進行、社会の変化、生徒のニーズの多様化などにより、今後、さらに志願者が減少することが懸念される。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
募集定員	90											78		76	73
一般志願倍率	1.09	1.05	1.43	0.92	0.61	1.03	0.63	0.53	0.53	0.33	0.32	0.44	0.29	0.39	0.36
合格者数	90	90	90	90	78	90	69	58	60	46	38	46	31	39	31
欠員数	-	-	-	-	12	-	21	32	30	44	52	32	47	37	42

(2) 通学の利便性の向上、安全対策の強化

中央農業高校は最寄りのバス停から徒歩 30 分程度かかり、近年はクマなどの出没が増えており、通学も含めた学校の安全対策が必要となる。

工業科

1. 配置状況



学区	砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
高校	砺波工業◎(120)	高岡工芸◎(270)	富山工業◎(320) 富山北部◆(80)	滑川◆(40) 魚津工業◎(90) 桜井■(40)
機械系	◎	◎	◎	◎
電気・電子系	◎	◎	◎	◎
土木・建築系	R9 年度開設予定	◎	◎	■
化学・薬業系	—	◎	◆	◎◆
工芸・デザイン系	—	◎	—	—

() 内は R8 年度の募集定員

2. 進路状況

(平成26年3月卒業生)

就職68.8%	進学30.8%(うち関連進学16.7%)		その他 0.4%
関連就職 61.8%	6.9%	大学・短大等 15.3%	
		専修学校等 15.6%	

(令和6年3月卒業生)

就職61.6%	進学37.8%(うち関連進学21.5%)		その他 0.6%
関連就職 52.5%	9.1%	大学・短大等 18.7%	
		専修学校等 19.1%	

3. 志願状況と欠員状況（過去 10 年間）

校名	学科名	H28		H29		H30		H31		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員
桜井	土木	0.95	1	1.20		1.00		1.13		0.70	8	0.43	17	1.13		0.52	7	0.58	14	1.30	
魚工	機械	1.20		1.00		1.44		0.98		1.10		0.75	16	1.07		0.90	3	1.83		0.48	13
	電気	0.66		1.03		0.95		0.94		0.57	10	0.60	13	0.64	10	0.38	21	0.41	12	0.33	19
	情報環境	1.34		0.94		0.78		1.17		0.81	4	0.93	1	0.51	14	0.69	7	0.58	3	0.71	10
滑川	薬業	1.05		1.80		2.10		0.90		1.04		0.75	7	1.62		0.64	3	0.63	5	0.94	1
富北	くすり・バイオ	1.17		2.00		1.52		1.50		1.98		0.90		1.28		0.64		1.11		0.87	
富工	機械工学	1.55		1.67		1.42		0.94		1.51		1.12		1.52		0.91		1.48		1.36	
	電子機械工学	2.23		2.05		1.21		1.96		2.16		1.34		2.00		1.24		1.09		1.04	
	金属工学	1.82		1.23		1.19		1.83		0.96		0.93		1.26		0.68		0.62		1.18	
	電気工学	1.06		1.28		0.84		0.82		1.43		0.82		0.78		1.05		0.63	2	0.96	
	建築工学	2.68		1.05		1.41		1.82		1.25		1.32		1.63		1.78		0.86		1.45	
	土木工学	1.60		2.86		1.85		1.67		1.25		1.00		1.27		1.04		0.86		1.23	
高工	機械	1.42		0.92		1.15		2.32		0.93		1.24		1.23		1.07		1.16		1.12	
	電子機械	1.54		1.11		1.32		1.24		1.50		1.44		1.50		1.23		0.69	7	1.45	
	電気	0.94		1.10		0.65		1.21		1.33		0.93		1.32		0.71	3	0.65	10	1.29	
	建築	1.27		1.36		1.21		1.23		1.45		1.32		1.09		1.23		0.85	2	1.07	
	土木環境	1.72		1.65		2.04		1.45		1.86		1.87		1.38		0.67	1	0.76	7	0.89	
	工芸	1.88		1.44		1.00		1.44		2.44		1.00		1.13		1.25		1.19		0.25	8
	デザイン・絵画	1.25		0.81		1.45		1.85		1.15		1.40		0.95		2.00		1.45		0.62	6
砺工	機械	1.32		0.97		1.37		1.02		1.18		1.02		0.46	24	0.38	35	0.65	13	0.67	14
	電気	1.03		0.67		0.83		0.81		1.31		0.35		0.65	6	0.42	19	0.29	14	0.31	17
	電子	1.00		0.90		0.90		1.28		1.13		1.37		1.21		0.97		1.64		0.58	10

4. 募集定員に対する農業科の割合

	H22 年度	H27 年度	R2 年度	R7 年度
工業科単独校	12.7%(950)	12.6%(910)	13.7%(910)	13.5%(815)
普通科併設工業科	1.6%(120)	1.7%(120)	2.4%(160)	2.7%(160)
工業科計	14.3%(1,070)	14.3%(1,030)	16.1%(1,070)	16.2%(975)
募集定員	7,474	7,224	6,662	6,024

5. 今後の課題

(1) 志願者の減少

- ・令和 20 年度の中学校卒業予定者は現在の 7 割まで減少するため、これに伴い、工業高校や工業科の規模を縮小せざるを得ない
【富山工業高校】 R⑦ 320 人（8 学級） → R⑳ 224 人（5.6 学級）
【高岡工芸高校】 R⑦ 270 人（7 学級） → R⑳ 189 人（4.7 学級）
【魚津工業高校】 R⑦ 105 人（3 学級） → R⑳ 74 人（1.8 学級）
【砺波工業高校】 R⑦ 120 人（4 学級） → R⑳ 84 人（2.1 学級）
【工業科】 R⑦ 975 人（26 学級） → R⑳ 683 人（17.1 学級） ※R㉑募集定員は、R⑦募集定員に 0.7 を乗じたもの
- ・さらに、「①私立高校授業料の実質無償化に伴う私立志向の高まり」や「②部活動等を理由とした県外高校への進学者の増加」による志願倍率の低下が懸念される。

(2) 社会の変化や生徒のニーズの多様化への対応

- ・デジタルものづくりの進展や施設設備等の高度化、CG・アニメーションやデザインへの興味関心の高まり、自然災害の頻発化、高等教育機関への進学者の増加などに対応した学校づくりの検討が必要となる。

〈参考〉デュアルシステムを導入している公立高校の例

◆東京都立多摩工科高等学校 デュアルシステム科(定員 35 人)



◆茨城県立日立工業高等学校（2 年生の希望者 10 名程度）

週 1 回（水曜）の企業実習を 1 年間行くと、工業科の科目「企業実習」（6 単位）として認められる。

◆滋賀県立彦根工業高等学校（希望者）

シンマイスターハイスクール事業（滋賀県指定事業）としてデュアルシステムを実施

※前年度までの文部科学省指定のマイスター・ハイスクール事業からより発展できるように事業展開していくもの。

2 年生

- ・ 2 週間（10 日間）程度、生徒の専門性や特徴を生かすことのできる企業において、本格的なものづくりや企業の求める課題解決（SDGs、脱炭素に関する取組等）などの就業体験ができる。
- ・ 希望者から選抜した生徒に通年のブラッシュアップ実習を実施。
- ・ ブラッシュアップ実習の選択者は外部講師の力を借り、高度な実習に取り組んだり、高度な資格試験に挑戦したりするなど各科の特性を生かした実習を行う。

3 年生

- ・ 週 1 日、企業や大学など学校外の施設で学習する機会（デュアルシステム）の継続的な構築を目指している。

商業科

1. 配置状況



砺波学区	高岡学区			富山学区		新川学区
石動■	高岡商業◇	氷見■	新湊■	富山商業◇	富山北部■	滑川■
商業科 (40)	流通ビジネス科 (80) 国際ビジネス科 (40) 会計ビジネス科 (40) 情報ビジネス科 (40)	ビジネス科 (40)	商業科 (40)	流通ビジネス科 (80) ビジネスマネジメント科 (40) 会計ビジネス科 (40) 情報ビジネス科 (80)	情報デザイン科 (40)	商業科 (40)

() 内は R8 年度の募集定員

2. 進路状況

(平成26年3月卒業生)

就職36.2%		進学63.7%(うち関連進学33.0%)		その他 0.1%
関連就職 18.4%	17.8%	大学・短大等 38.6%	専修学校等 25.1%	

(令和6年3月卒業生)

就職26.1%		進学73.1%(うち関連進学35.6%)		その他 0.8%
関連就職 12.7%	13.4%	大学・短大等 49.0%	専修学校等 24.0%	

3. 志願状況と欠員状況（過去 10 年間）

校名	学科名	H28		H29		H30		H31		R2		R3		R4		R5		R6		R7	
		倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員	倍率	欠員
滑川	商業	0.69		1.50		1.60		1.04		1.11		0.91	1	1.24		0.88	2	1.60		1.14	
富北	情報デザイン	0.95		1.50		1.90		1.35		1.45		2.30		1.17		1.95		1.09		1.65	
富商	流通ビジネス	1.58		1.48		1.95		1.03		1.15		1.03		1.35		1.03		2.70		1.48	
	ビジネスマネジメント	0.55		0.88		1.38		1.13		0.55		0.43		0.55		1.15		1.22		2.20	
	会計ビジネス	1.40		1.08		1.20		1.37		0.62		1.25		0.48		1.50		1.75		1.04	
	情報ビジネス	1.15		0.88		1.37		1.13		0.73		1.35		1.03		1.10		1.90		1.27	
新湊	商業	1.40		1.36		1.21		1.20		1.41		1.40		1.25		1.20		0.77	3	1.35	
高商	流通ビジネス	1.70		1.23		1.45		1.38		1.25		1.25		0.95		1.07		1.05		1.03	
	国際ビジネス	1.20		0.96		0.70		1.20		0.64		1.10		0.56	7	0.71	2	1.22		0.24	16
	会計ビジネス	1.35		1.05		0.83		1.58		0.80		1.29		0.91	1	1.00		0.97		0.48	11
	情報ビジネス	1.23		0.75		1.17		1.85		0.95		1.30		1.25		1.25		1.04		0.61	4
氷見	ビジネス（商業）	0.81		1.13		1.36		1.00		0.75	2	1.00		1.04		1.35		0.75	5	0.92	2
石動	商業	0.76		1.43		1.08		0.85		1.15		1.35		0.75		1.05		0.85		0.67	8

4. 募集定員に対する農業科の割合

	H22 年度	H27 年度	R2 年度	R7 年度
商業科単独校	7.5%(560)	7.2%(520)	7.2%(480)	7.3%(440)
普通科併設商業科	2.7%(200)	2.8%(200)	3.0%(200)	3.3%(200)
商業科計	10.2%(760)	10.0%(720)	10.2%(680)	10.6%(640)
募集定員	7,474	7,224	6,662	6,024

5. 今後の課題

（１）令和 20 年度の中学校卒業予定者は現在の 7 割まで減少するため、これに伴い、商業高校や商業科の規模を縮小せざるを得ない

【富山商業高校】 R⑦ 240 人（6 学級） → R⑳ 168 人（4.2 学級）

【高岡商業高校】 R⑦ 200 人（5 学級） → R⑳ 140 人（3.5 学級）

【商業科】 R⑦ 640 人（16 学級） → R⑳ 448 人（11.2 学級） ※R㉑募集定員は、R⑦募集定員に 0.7 を乗じたもの

（２）さらに、「①私立高校授業料の実質無償化に伴う私立志向の高まり」や「②部活動等を理由とした県外高校への進学者の増加」の可能性があり、商業高校における教育活動や部活動の維持が困難になることが懸念される。